
国立病院機構 相模原病院

令和5年度 中心拠点病院事業 総括

臨床研究センター長 海老澤 元宏



アレルギー中心拠点病院の 事務局としての活動

● 拠点病院とのオンライン面談

中心拠点病院と都道府県拠点病院とのオンライン面談を個別に実施し問題点を確認する。

● アレルギー疾患医療全国拠点病院連絡会議の開催

拠点病院との情報共有、意見交換を行い医療の均てん化を図り、広域的な研究体制を整備構築する。

● A・B・C研修の実施

全国拠点病院の医療従事者への育成を行い、アレルギー疾患に関する医療の質の向上を行う。

● オンライン医療相談の実施

診断が困難な症例や難治性アレルギー患者の診療に対する相談やサポートを行い、全国拠点病院との連携協力体制を構築する。

● 一般の方に向けたアレルギー医療相談の実施

アレルギー疾患患者とその家族の悩みや不安に的確に対応することにより、その生活の一層の支援を図ることを目的とする。

● オンライン動画研修

遠隔地・社会情勢等の理由でアレルギー中心拠点病院まで研修に来られない医師を対象に、オンライン研修としてアレルギー中心拠点病院医師による講義・手技動画を配信。

中心拠点病院と都道府県拠点病院とのオンライン面談

実施期間

2023年7月21日～8月30日 (7日間) 22施設

2023年12月7日～12月21日 (5日間) 14施設

合計 36施設

※1施設15分程度

目的

- 拠点病院との事業連携の充実
- アレルギー疾患対策事業の方向性を決めていくうえで、都道府県拠点病院の抱えている問題点を確認、解決に向け個別にオンラインにて面談を実施

実施施設

北海道大学病院、弘前大学医学部附属病院、中通総合病院、岩手医科大学病院、宮城県立こども病院、東北大学病院、島根大学医学部附属病院、高知大学医学部附属病院、南岡山医療センター、福岡病院、琉球大学病院 他

A研修：相模原臨床アレルギーセミナー

設立経緯

日本アレルギー学会WGの討議において、講習会形式での研修を相模原病院が担当となる。

拠点病院の人材育成プラン

国のアレルギー疾患対策基本法が制定され、厚労省と中心拠点病院（成育医療研究センターと国立病院機構相模原病院）が中心となり拠点病院の人材育成に関して検討。当セミナーを第一段階の研修 = A研修に位置づけた。

参加人数

毎年300人以上が参加する国内最大のアレルギーセミナー

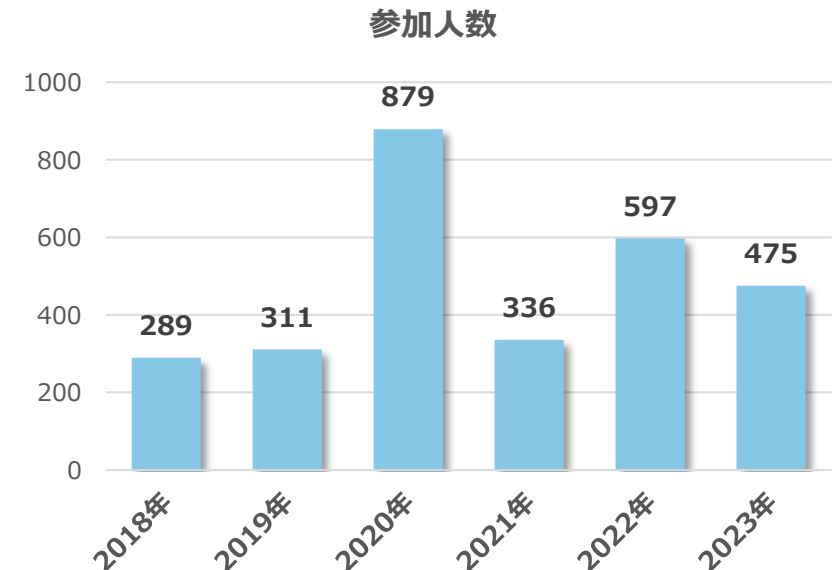
2024年

【受付期間】

2024年4月1日(月)10時～7月16日(火)

【WEB配信期間】

2024年8月1日(木)～9月2日(月)



B研修：2週間の総合アレルギー研修

応募・実施状況

2023年度：研修実施数 6名（2024年1月現在）※3月に1名予定。

2023年9月よりトータルアラジストの観点から多くの先生方へ学びの場を提供すべく内科、小児科に限らず拠点病院の先生方でしたらすべての科を応募可能とした。

また、魅力ある研修を目指し、耳鼻科手術見学、皮膚科実習・講義を追加し研修プログラムを見直した。

来年度より1週間コースを設定する予定。

研修内容（成人）

	1週目（月）	1週目（火）	1週目（水）	1週目（木）	1週目（金）
AM	施設案内 共通 講義：アレルギー疾患総論・成人FA	共通 耳鼻科手術見学	共通 成人食物アレルギー外来見学	共通 小児アレルギー初診外来見学 ・アレルギー性鼻炎	共通 小児科 食物経口負荷試験 栄養食事指導
PM	成人 講義：アレルギー免疫療法 他	共通 実習：皮膚テスト・パッチテスト 講義：アトピー性皮膚炎・蕁麻疹・金属アレルギー等	成人 講義：免疫学	成人 講義：重症喘息と周辺疾患の画像所見・重症喘息のケーススタディ	成人 講義：薬物過敏症 他

	2週目（月）	2週目（火）	2週目（水）	2週目（木）	2週目（金）
AM	共通 小児科OIT見学	共通 皮膚科外来見学	共通 成人食物アレルギー外来見学	共通 小児アレルギー初診外来見学	共通 耳鼻科外来見学
PM	成人 実習：アレルギーエキス作成実習 講義：アレルギーコンポーネント	成人 講義：アスピリン喘息・喘息一般	成人 講義	成人 講義：アレルギー	成人 総括 修了証明書授与

オンライン講義：

成人・小児食物アレルギー、成人・小児喘息、ABPA、EGPA、AERD、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、アナフィラキシーなど

研修内容 (小児)

	1週目 (月)	1週目 (火)	1週目 (水)	1週目 (木)	1週目 (金)
AM	施設案内 共通 食物経口負荷試験 栄養食事指導	共通 食物経口負荷試験 栄養食事指導	共通 成人食物アレルギー-外来見学	共通 小児アレルギー-初診外来見学 ・AD/FA/BA/AR	共通 耳鼻科外来見学
PM	小児 食物経口負荷試験 小児アレルギー-外来見学 ・AD/FA/BA/AR	共通 実習： アレルゲンエキス作製 ※講義	小児 呼吸機能検査 小児アレルギー-外来見学 ・AD/FA/BA/AR	小児 食物経口負荷試験 小児アレルギー-外来見学 ・AD/FA/BA/AR	小児 食物経口負荷試験 小児アレルギー-外来見学 ・AD/FA/BA/AR
経口免疫療法 (実施期間中のみ)					
	2週目 (月)	2週目 (火)	2週目 (水)	2週目 (木)	2週目 (金)
AM	共通 食物経口負荷試験 栄養食事指導	共通 皮膚科外来見学	共通 成人食物アレルギー-外来見学	共通 小児アレルギー-初診外来見学 ・AD/FA/BA/AR または 耳鼻科手術見学	共通 食物経口負荷試験 栄養食事指導
PM	小児 食物経口負荷試験 小児アレルギー-外来見学 ・AD/FA/BA/AR 皮膚科実習+講義 ・AD・蕁麻疹・金属アレルギー等 ・パッチテスト ※第3月曜日以外に実施	共通 実習： 皮膚プリックテスト ※講義	小児 食物経口負荷試験 小児アレルギー-外来見学 ・AD/FA/BA/AR	小児 食物経口負荷試験 小児アレルギー-外来見学 ・AD/FA/BA/AR	小児 総括14:00～ 修了証明書授与

オンライン講義：

成人・小児食物アレルギー、成人・小児喘息、ABPA、EGPA、AERD、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、アナフィラキシーなど

AD：アトピー性皮膚炎
FA：食物アレルギー
BA：気管支喘息
AR：アレルギー性鼻炎

C/D研修：成人アレルギー

処遇および業務

- アレルギー・呼吸器内科レジデントとしての病棟および外来業務
- 臨床研究センター非常勤研究員（併任）としての臨床研究業務
- 長期研修であれば、当院勤務しながら学位取得も可能
- 順天堂大学連携大学院 制度利用（5年以上在職できる場合・入学試験あり）

過去の実績（C, D研修あわせた年度別新規研修者数）

2018年度 1人	2021年度 1人
2019年度 1人	2022年度 5人
2020年度 2人	2023年度 3人

今後の募集案内

- C, D研修ともに、次年度4月より最低1年間（前年度8月末までに要連絡）
- C, D研修は1年以内の短期研修は不可、長期研修は応相談

※応募者多数の場合は、さらに次年度に繰り越す場合あり

C/D研修：小児アレルギー（年平均3-6名）

対象：卒後5年目以降の小児科医師

募集人数：各年度4-5名程度(先着順・地方拠点病院を優先)（前年度8月末までに要連絡）

実施期間・開始時期：1-3年間、4月(10月開始は要相談)

待遇：レジデント、宿舎・保育所有、当直月2回、希望者外勤有



研修の特徴

- 小児アレルギー疾患の最新の治療・臨床研究知識の習得
- 研修者全員に学会発表(国内・海外)論文投稿の基礎徹底指導
- 熱心な指導医と充実した研修・教育システム・卒後フォローアップ
- 研修しながら最短3年で学位習得可能（順天堂大学連携大学院）

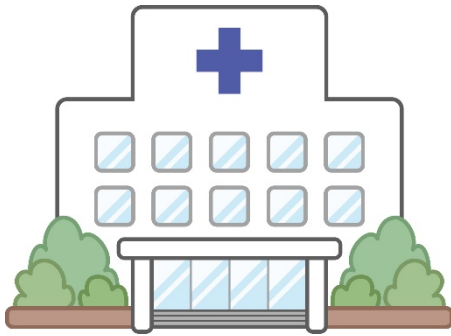


レジデント1人当たり年間平均研修実績

- アトピー性皮膚炎のスキンケア・軟膏療法(入院10件担当)
- 食物経口負荷試験(300件以上担当)
- 経口免疫療法(12件担当)
- アレルギー疾患の診断・管理法(初診・再診200件担当)
- アレルゲン免疫療法(注射4-8件、舌下10-20件担当)
- 各種検査（皮膚テスト100件以上・呼吸機能検査100件以上）
- 重症気管支喘息の入院対応と長期管理(10-20件)

オンライン医療相談（D to D）

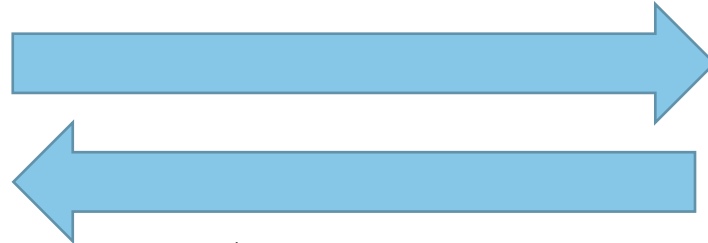
<アレルギー拠点病院>



拠点病院のご所属の
先生方

✓症例に関するご相談
個々の症例の治療方針？
診断方法？

✓検査・診療体制の構築に関する
ご相談



アドバイス

- ◇オンライン（web会議形式）
- ◇無料
- ◇何度でも可

**2023年度（4月～12月）
対応実績 成人領域 2件**

<相模原病院>



相模原病院の
小児科・内科医師

オンライン医療相談（D to D）

カテゴリーより選択、メールにて連絡後に相談日程を調整し、担当医師が相談を受ける。

（※アレルギー中心拠点病院ホームページより相談申し込み）

【相談カテゴリー】

1) 症例に関する相談

- 1) - A 小児の食物アレルギー
- 1) - B 小児のアトピー性皮膚炎
- 1) - C 小児の気管支喘息
- 1) - D 小児のその他（舌下・皮下免疫療法、原因不明のアナフィラキシーなど）
- 1) - K 成人の喘息や気道疾患
- 1) - L 成人の食物アレルギー
- 1) - M 成人の薬剤/その他過敏症

2) 検査・診療体制の構築に関する相談

- 2) - A 小児アレルギー領域
- 2) - B 成人アレルギー領域

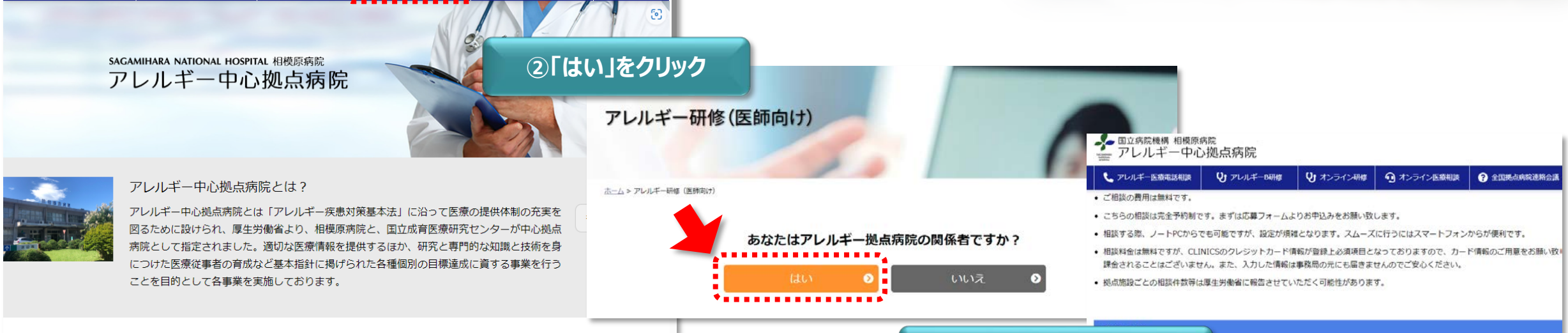
オンライン医療相談：利用方法

「相模原病院ホームページ」→「アレルギー中心拠点病院としての活動」からホームページに入れます。

①「オンライン医療相談」をクリック



②「はい」をクリック



③「応募フォーム」をクリック



アレルギー医療電話相談

実施内容

受付日時：毎週火・水曜日（祝日・年末年始は除く）

10:00-12:00／13:00-15:00

電話対応者：小児アレルギーエデュケーターおよび経験豊富な看護師が対応。

年間実績

2023年1月～12月

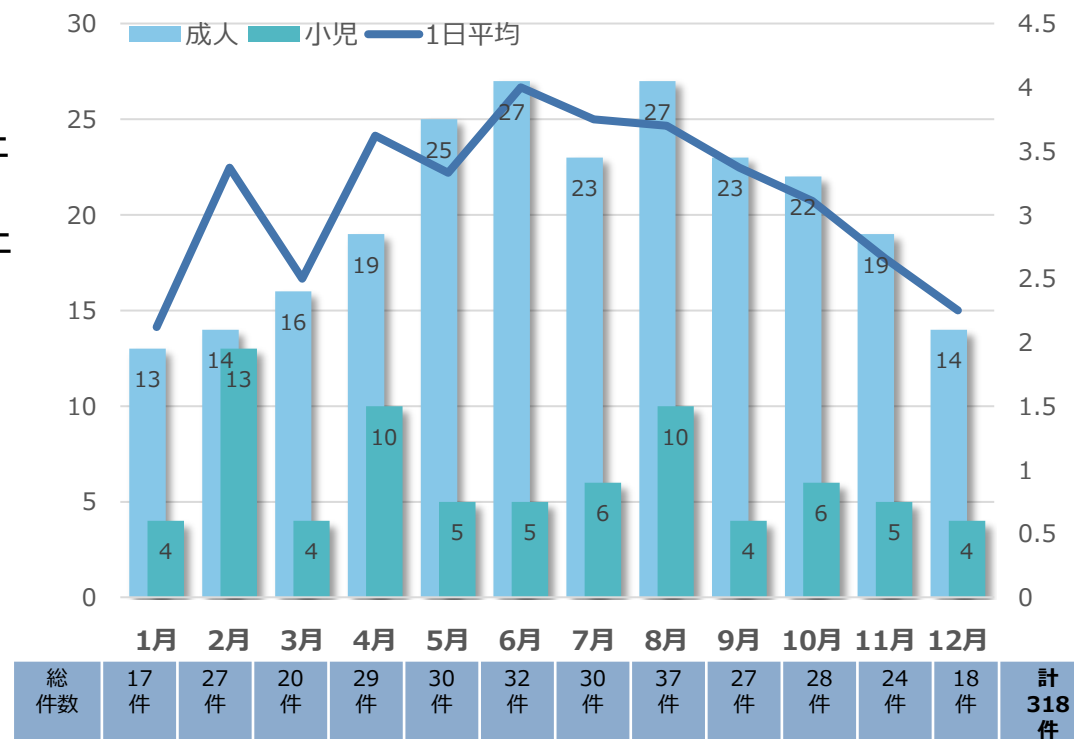
年間相談件数

■成人／242件 ■小児／76件

■不明／1件 ■総件数／319件

年間相談日数 101 日

1日平均相談件数 3.15 件

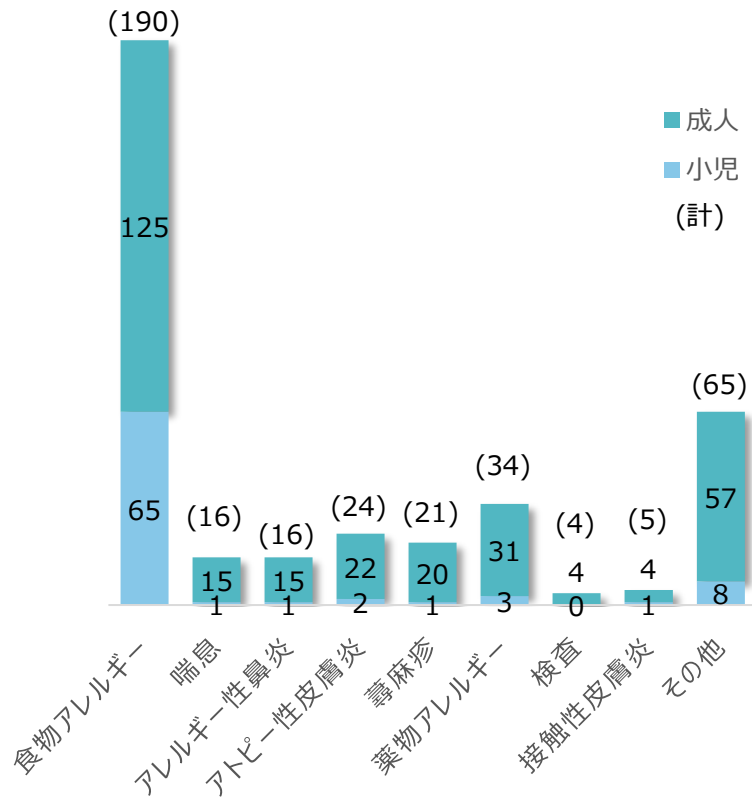


アレルギー医療電話相談：2023年実績（1-12月）

相談総件数 319件

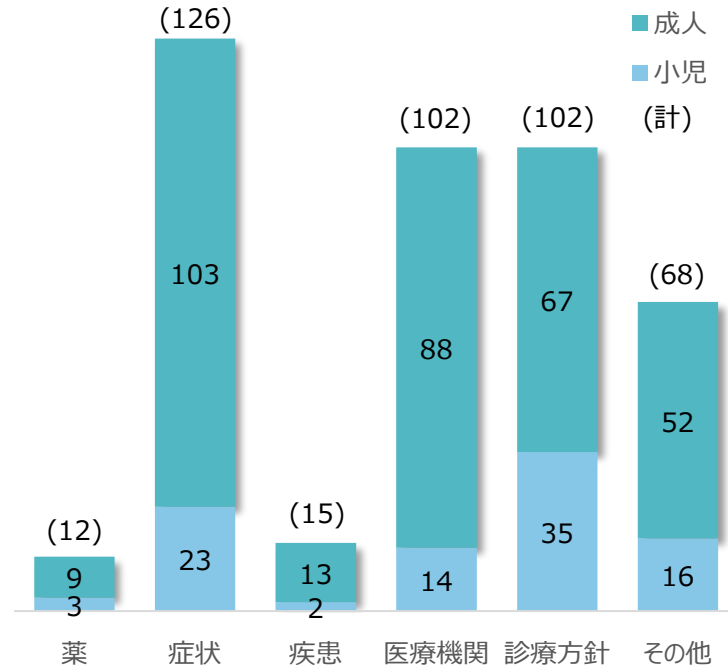
疾患

※重複ありのべ375件

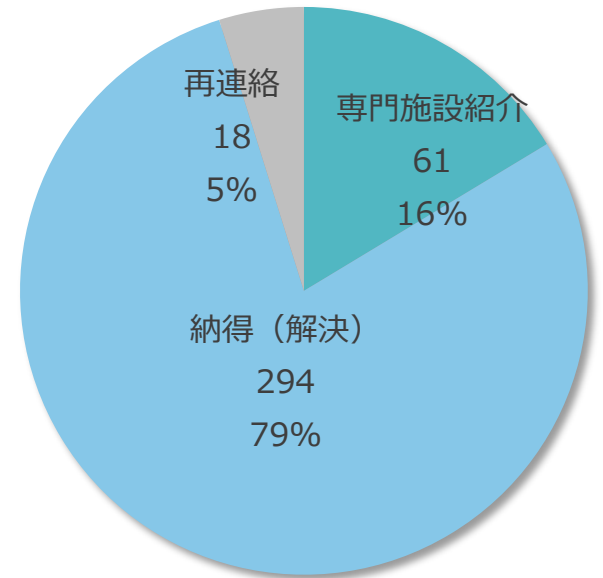


相談内容

※重複ありのべ425件



相談結果



オンライン動画研修

オンライン研修として、相模原病院医師による講義・手技をアレルギー中心拠点病ホームページより配信

小児アレルギー領域

1. ガイドラインに基づく小児アトピー性皮膚炎診療の実践 (糸永先生)
2. 小児期の食物アレルギーの診断 (佐藤先生)
3. 負荷試験の実際 (柳田先生)
4. 栄養食事指導のポイント (朴先生)
5. 小児の気管支喘息の診断・検査 (永倉先生)
6. 小児の気管支喘息の治療・管理 (永倉先生)
7. 小児のアレルギー性鼻炎 (西野先生)
8. アレルギー疾患の発症予防(アトピー性皮膚炎と食物アレルギー) (高橋先生)
9. アレルギー疾患の発症予防(気管支喘息) (高橋先生)
10. 小児の蕁麻疹 (糸永先生)

成人アレルギー領域

1. 成人喘息急性増悪の背景とその対応 (関谷先生)
2. 妊娠期間中の喘息管理 (関谷先生)
3. 気管支喘息の抗体治療 (上出先生)
4. N-ERD (NSAIDs過敏喘息 AERD) - ベイシックコース (基本的知識と基本的な対応) (谷口先生)
5. N-ERD (NSAIDs過敏喘息 AERD) - アドバンスコース (より深い理解と非典型例や難治例への対応) (谷口先生)
6. 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症 (EGPA) (関谷先生)
7. ABPM (アレルギー性気管支肺真菌症) (谷口先生)
8. 成人アレルギー疾患総論 (福富先生)
9. 成人の食物アレルギー：入門編 (福富先生)
10. 化学物質過敏症 (特異性環境不耐症) (渡井先生)

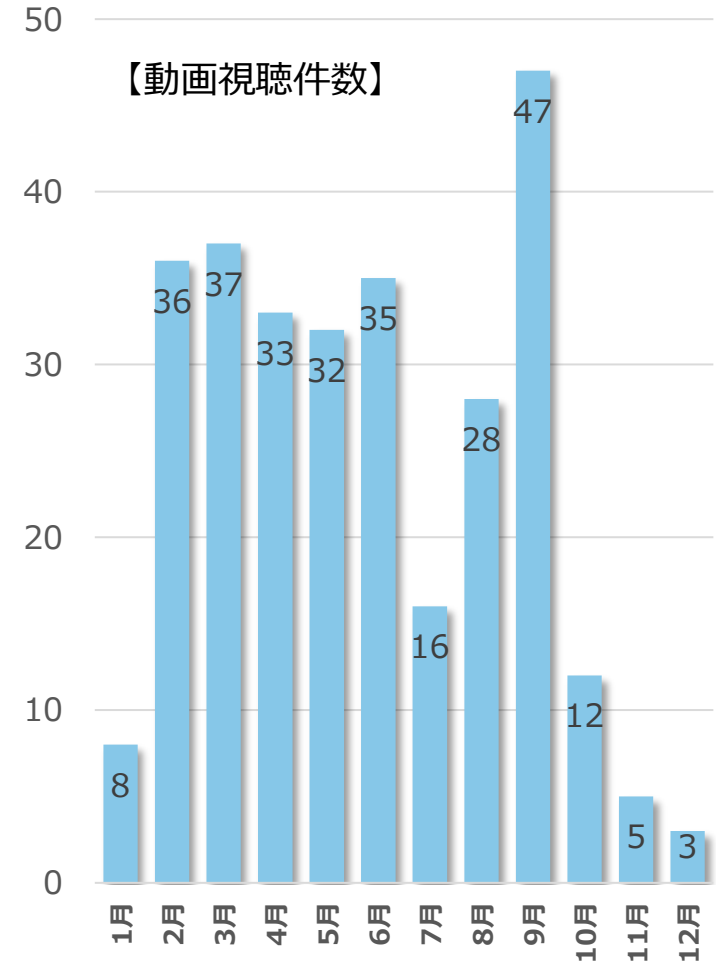
各種検査

引用元	アレルギー専門医のためのアレルギー検査と免疫療法の実際 (DVD)
作成年	2010年
監修	秋山 一男

1. 抗原吸入テスト (谷口先生)
2. 局所麻酔薬検査 (永田先生)
3. 鼻誘発試験 (太久保先生)
4. 気道過敏性検査 (前田先生)

共通領域

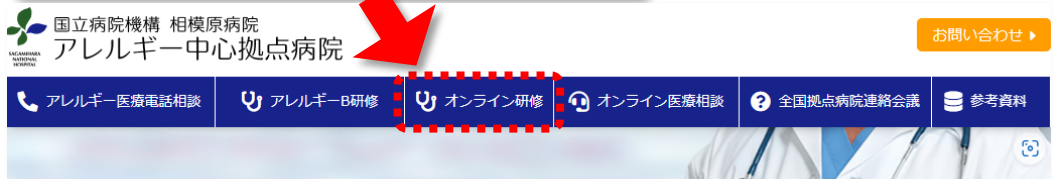
1. 吸入性抗原シリーズ ①ダニ・ペット (福富先生)
2. 吸入性抗原シリーズ ②花粉 (福富先生)
3. 吸入性抗原シリーズ ③真菌 (福富先生)
4. 吸入性抗原シリーズ ④昆虫 (福富先生)
5. アレルゲンエキス調整法 (福富先生)
6. アレルゲンコンポーネント (福富先生)
7. ダニ・スギアレルギーに対するアレルゲン免疫療法 (房安先生)
8. アナフィラキシーへの対応 (小倉先生)



オンライン動画研修：利用方法

「相模原病院ホームページ」→「アレルギー中心拠点病院としての活動」からホームページに入れます。

①「オンライン研修」をクリック



②「はい」をクリック

アレルギー研修 (医師向け)

あなたはアレルギー拠点病院の関係者ですか？

はい

いいえ

オンライン研修

成人アレルギー研修

1. 成人アレルギー研修の目的と意義 (講師 渡辺 浩)
2. アレルギー疾患の診断と治療 (講師 渡辺 浩)
3. アレルギー疾患の予防 (講師 渡辺 浩)
4. アレルギー疾患の最新治療 (講師 渡辺 浩)
5. アレルギー疾患の最新治療 (講師 渡辺 浩)
6. SPT (講師 渡辺 浩)
7. ARA (講師 渡辺 浩)
8. 成人アレルギー研修の意義と目的 (講師 渡辺 浩)
9. 成人アレルギー研修の意義と目的 (講師 渡辺 浩)
10. 成人アレルギー研修の意義と目的 (講師 渡辺 浩)

中心拠点-地方拠点 様々な事業連携

【宮崎県における取り組み】

●アレルギー専門外来のサポート

月1回中心拠点からアレルギー学会指導医・専門医の派遣

●アレルギー疾患に関連する調査事業のサポート

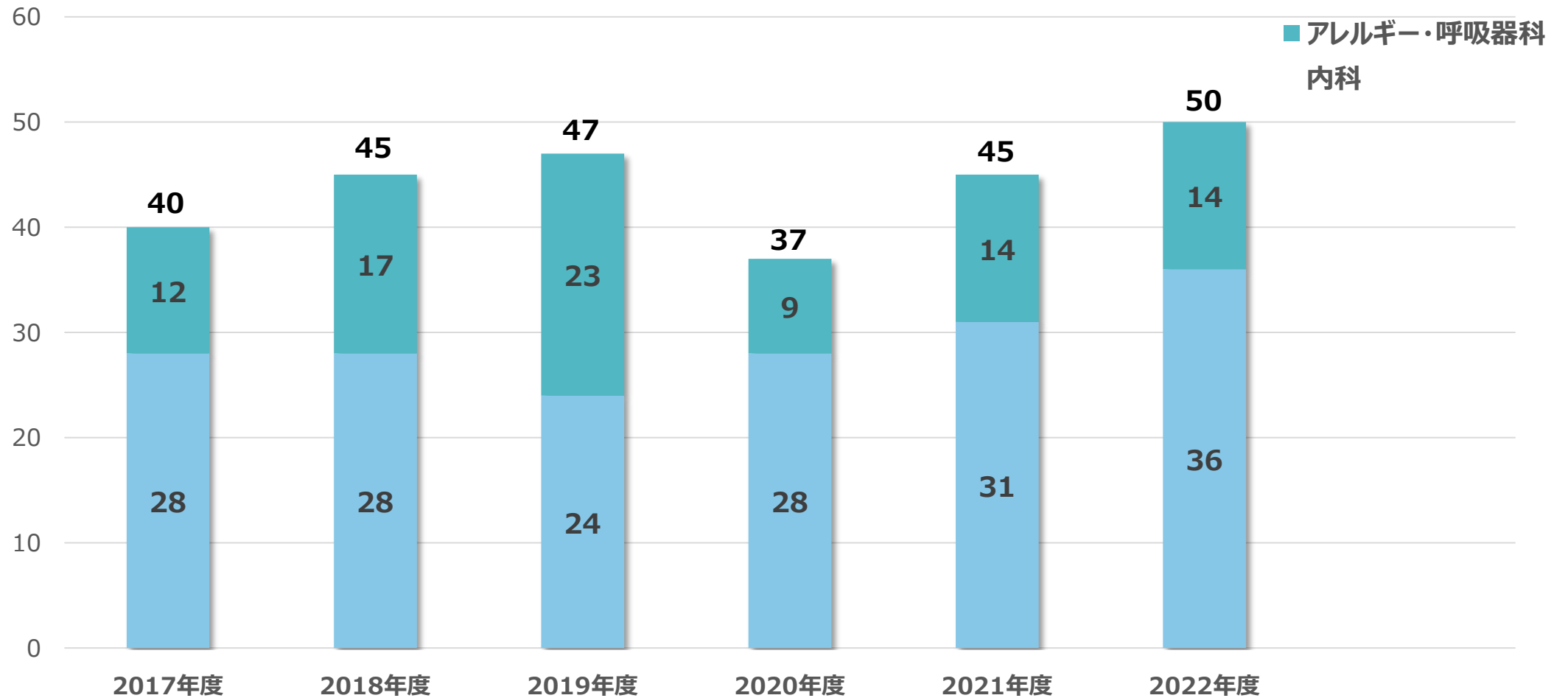
- 保育施設における食物アレルギーの実態調査（2023年10月）
- 食物経口負荷試験の実施状況調査（年1回）

●人材育成・地域連携のサポート

- 宮崎小児アレルギー勉強会（年4回）
- 南九州地区オンライン講演会（2024年3月開催予定）
- 若手医師を対象とした小児アレルギースキルアップセミナー（2024年1月開催）

研究実績

相模原病院 アレルギー関連 英文論文 掲載数 (2017~2022年度)



食物アレルギー研究会

食物アレルギー研究会
JAPANESE SOCIETY OF FOOD ALLERGY

トップページ 研究会について 開催案内 負荷試験実施施設 リンク お問い合わせ

資料
入会のご案内
食物アレルギーの診療の手引き Q & A
食物アレルギーの栄養食事指導の手引き Q & A

食物経口負荷試験実施施設

食物アレルギーの診療の手引き2020
Web版 (PDF/9MB)

食物経口負荷試験の手引き2020
Web版 (PDF/10MB)

食物アレルギーの栄養食事指導の手引き2017
Web版 (PDF/2MB)

お知らせ

2022年3月7日 第22回食物アレルギー研究会 終了の御礼

2022年2月4日 第22回食物アレルギー研究会を開始しました

2021年12月15日 第22回食物アレルギー研究会 参加登録を開始しました

2021年10月19日 2021年度 田沼グリーンハウス財団 研究助成 公募のおしらせ

2021年10月8日 乳幼児用のミックス離乳食 (Spoonfulone スプーンフルワン®)に関する注意喚起

開催案内

第22回食物アレルギー研究会 (WEB開催: 2022年2月4日-3月6日)

第21回食物アレルギー研究会 (WEB開催: 2021年2月25日-3月16日)

第20回食物アレルギー研究会 (2020年2月9日開催)

第19回食物アレルギー研究会 (2019年2月17日開催)

第18回食物アレルギー研究会 (2018年2月18日開催)

【主な掲載コンテンツ】

- 食物経口負荷試験実施施設一覧
- 食物アレルギーの診療の手引き
- 食物経口負荷試験の手引き
- 食物アレルギーの栄養食事指導の手引き

etc.

<https://www.foodallergy.jp/>

食物アレルギー研究会

食物経口負荷試験実施施設一覧

<https://www.foodallergy.jp/ofc/>

食物アレルギー研究会
TOPページ 会について 開催案内 負荷試験実施施設 リンク お問い合わせ

食物経口負荷試験 実施施設一覧

【食物経口負荷試験をご希望される患者さんへ】
このサイトに掲載されている医療機関は、日本小児科学会専門医研修プログラム 基幹施設・連携施設の小児科を対象として行った調査に回答があり、掲載の許可があった施設です。
負荷試験を行っている施設は掲載の施設以外にも多数あります。

「外来負荷」「入院負荷」は2020年度（令和2年度）の外来または入院での食物経口負荷試験の実施症例数を示します。

※現在、コロナウイルス対応の影響で負荷試験を中止している医療機関が多数あります。試験希望の場合は必ず各施設へお問い合わせください。

エリア一覧

北海道
東北地方
関東
中部地方
近畿
中国
四国
九州

北海道エリア 東北エリア 関東エリア 中部エリア 近畿エリア 中国エリア 四国エリア 九州沖縄エリア

関東エリア

TOPページ > 食物経口負荷試験 実施施設一覧 > 関東エリア

1,000件以上	501~1,000件	201~500件	101~200件	51~100件	1~50件	実施なし
★★★★	☆☆☆	☆☆	☆	◎	○	—

症例数：2020年度（令和2年度）実績

施設名	外来負荷	入院負荷
茨城県		
茨城県立こども病院 小児アレルギー科	☆☆	○
東京医科大学茨城医療センター 小児科	—	○
JAとりで総合医療センター 小児科	○	○
筑波メディカルセンター病院 小児科	○	☆☆
茨城西南医療センター病院 小児科	—	○
日立総合病院 小児科	—	○
常陸大宮済生会病院 小児科	—	○
栃木県		
獨協医科大学病院 小児科	☆☆	☆☆☆
自治医科大学附属病院 小児科	○	○
国際医療福祉大学病院 小児科	—	○
国立病院機構栃木医療センター 小児科	☆☆	☆
五箇赤十字病院 小児科	—	☆
新小山市民病院 小児科	—	◎
足利赤十字病院 小児科	○	☆
佐野厚生総合病院 小児科	○	○
群馬県		
群馬大学医学部附属病院 小児科	○	○

食物アレルギー研究会 資料

食物アレルギー研究会
JAPANESE SOCIETY OF FOOD ALLERGY

トップページ 研究会について 開催案内 食料試験実施施設 リンク お問い合わせ

資料
入会のご案内
食物アレルギーの診療の手引き Q & A
食物アレルギーの栄養食事指導の手引き Q & A

食物経口負荷試験実施施設

お知らせ

2022年3月7日 第22回食物アレルギー研究会 終了のお知らせ

2022年2月4日 第22回食物アレルギー研究会を開始しました

2021年12月15日 第22回食物アレルギー研究会 参加登録を開始しました

2021年10月19日 2021年度 田沼グリーンハウス財団 研究助成 公募のお知らせ

2021年10月8日 乳幼児用のミックス離乳食 (Spoonfulone スプーンフルワン®)に関する注意喚起

開催案内

第22回食物アレルギー研究会 (WEB開催: 2022年2月4日-3月6日)

第21回食物アレルギー研究会 (WEB開催: 2021年2月25日-3月16日)

第20回食物アレルギー研究会 (2020年2月9日開催)

第19回食物アレルギー研究会 (2019年2月17日開催)

第18回食物アレルギー研究会 (2018年2月18日開催)

<https://www.foodallergy.jp/document/>

資料

トップページ > 資料

食物アレルギーの診療の手引き2020



[PDF/9MB]

Web版

日本医療研究開発機構研究事業
「重症食物アレルギー患者の管理および治療の安全性向上に関する研究」
研究開発代表者: 海老澤 元宏
小児から成人までの食物アレルギーの診断・治療のレベルの向上と、食物アレルギー患者の生活の質の改善を図るために一般医向けに作成された手引きです。食物アレルギーの診断・治療の基本について述べています。
2017年版の改訂版として発行されました。

食物経口負荷試験の手引き2020



[PDF/10MB]

Web版

厚生労働科学研究事業
「食物経口負荷試験の標準的施行方法の確立」
研究代表者: 海老澤 元宏
即時型食物アレルギーの診断・管理のレベル向上および食物経口負荷試験の普及を図るために一般医向けに作成された手引きです。
食物経口負荷試験の標準的な実施方法について述べています。

食物アレルギーの栄養食事指導の手引き2017



[PDF/2MB]

Web版

厚生労働科学研究事業
「食物アレルギーに対する栄養・食事指導法の確立に関する研究」
研究代表者: 海老澤 元宏
食物アレルギー患者に対する栄養食事指導の役割は大きく、不可欠です。
この手引きは主に管理栄養士の食物アレルギーの栄養指導レベルの向上を目標に作成されていますが、患者の生活に携わる全ての関係者の参考になる手引きです。
2011年版「食物アレルギーの栄養指導の手引き」の改訂版として発行されました。